

院内感染の基礎知識

血液によって感染する主なウイルスは以下の3つがあります。歯科治療におけるウイルスの感染経路は使用器具からの感染、針刺し事故（医療従事者の感染）が考えられます。

B型肝炎ウイルス (HBV)

B型肝炎ウイルスは、血液や体液を介して感染します。B型急性肝炎は、性行為、医療従事者の針刺し事故、注射針の使い回し、入れ墨などが主な感染経路となり、B型慢性肝炎の大半は、母子感染が原因です。B型急性肝炎は、感染しても肝炎とわかるような症状があまりみられず60~70%の人は治癒します。しかし、残りの30~40%の人では典型的な急性肝炎の症状がみられます。主な症状は、関節痛、食欲不振、吐き気、全身の倦怠感、肝臓病特有の黒褐色尿や黄疸（おうだん）などです。

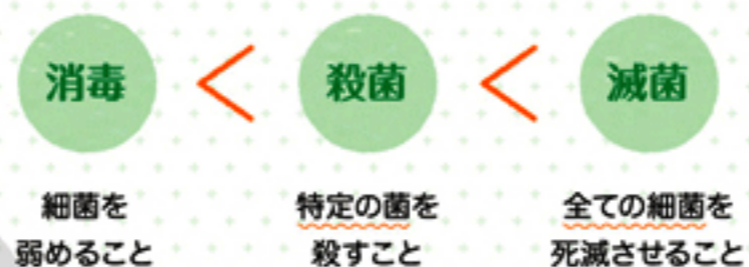
C型肝炎ウイルス (HCV)

C型肝炎ウイルスは、血液を介して感染します。まず急性肝炎を発症し、そのうちの約7割が慢性肝炎に進行します。放っておくとさらに進行して肝硬変を経て肝臓ガンへ進行する恐れがあります。慢性肝炎の状態では生命に危険がおきることはなく、継続的な治療に時間をとられることを除けば健康人と同じ生活が出来ますが、肝臓ガンが発生したり、肝硬変が進行して肝不全を引き起こしたりすると、生命の危険がせまってきます。

エイズウイルス (HIV)

エイズの原因となるウイルスであるHIVは、ヒトの体の中に侵入すると、免疫機能の中心的な役割を担っているリンパ球（白血球の一種）を次々に破壊します。その結果、徐々に免疫力が下がっていき、免疫不全状態に陥り、健康な時にはかからないような重い感染症や悪性腫瘍、あるいは痴呆や運動障害等の神経症状をきたします。

消毒・殺菌・滅菌の違いって何？



当院ではこのような 患者さん・医療従事者との院内感染の可能性を断ち切るために、感染の可能性のある使用器材の消毒・滅菌・使い捨てに力を入れています。

何か気になることがある場合、スタッフまでお気軽にお尋ね下さい。

「安心・安全を約束する歯医者さん」を置いている歯科医院は、器具機材の消毒・滅菌に対し、高い意識で取り組んでいます。



を

約束する 歯医者さん

— 当たり前の事を当たり前！ —

あなたの歯医者さん選びの
ポイントは何ですか？